

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

独立行政法人国立病院機構広島西医療センター

(2) 事業所の所在地

大竹市玖波 4-1-1

(3) 業種

医業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度を基準年度とし、平成28年度から平成31年度までの4年間とする。

3 計画の基本的な方向

- 重油の燃焼効率を高める助燃剤の投入
- 職員による無駄な冷暖房、照明のカット
- 廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進
- グリーン購入の推進
- デマンドが上がる夏期には屋上の室外機へ1日2回の撒水

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成26年度	直近年度 平27年度
二酸化炭素		5 8 2 4	5 7 7 7

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF ₆			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)		削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	5 8 2 4		1 %	5 8 . 2	5 7 6 5
非エネルギー起源CO ₂					
メタン					
一酸化二窒素					
フロン類					
温室効果ガス 実排出量総計					
温室効果ガス みなし排出量					
目標設定の考え方					

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)							
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	2%（削減予測は10%だが使用量の増加も見込まれるためこの数値とする。）	・重油助燃剤の投入 ・省エネ型熱源機器への更新
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	節水栓設置	水道使用量5%減	節水栓の設置による削減
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

	最高責任者（院長）		
	推進責任者（副院長）—総合調整（企画課）		
責任者	診療部（統括診療部長）	事務部（事務部）	看護部（看護部長）
推進リーダー	放射線技師長	管理課長	副看護部長

(2) 実施状況の点検・評価

(3) 計画書等の公表

- ・ 事業所に備え付けて閲覧する。
- ・ 院内会議（管理診療会議）での使用電気料の周知